

古代のみち

—常陸を通る東海道駅路—

期間 3月16日(土)～5月6日(月)

今から1300年以上前、奈良の都から続く1本の道がこの土浦を通過していたことをご存じでしょうか。

7世紀後半、全国を畿内五国と東海道・東山道など7つの行政区画に分け、都を中心に各地を結ぶ幹線道路(駅路)が整備されました。道幅が12メートルにも及ぶ直線的な道路で、早馬を乗り継ぐための施設である駅家も置かれました。常陸国は東海道に属し、下総国から続く駅路が通っていました。現在の稲敷市や牛久市、阿見町を通り、土浦市、かすみがうら市を抜け、国府のある石岡市に到ります。

古代の道は、現在も道路として使われているところや直線的な境界として、今もその痕跡を見ることが出来ます。1300年以上も前の道が、私たちの見慣れた風景のなかに残っていることは驚くべきことといってよいでしょう。この展覧会は、東海道駅路を中心に周辺の遺跡を取り上げ、古代の道の果たした役割などを紹介します。足元に残る古代の道を通して、魅力ある地域の文化遺産を再発見していただければ幸いです。

—記念行事—

◆記念講演会常

「陸国の古代官道」

とき／4月27日(土) 午後2時～3時30分
講師／木本雅康さん(長崎外国語大学教授)
ところ／考古資料館2階 体験学習室
定員／60人(先着順)



◆特別展講座「古代官道を探る」

□第1回

とき／3月30日(土) 午後1時30分～3時40分

●榎浦津と信太郎の古代官道

講師／考古資料館学芸員

●行方郡の古代官道

講師／千葉隆司さん(かすみがうら市郷土資料館学芸員)

□第2回

とき／4月14日(日) 午後1時30分～3時40分

●国府に向かう東海道駅路

講師／考古資料館学芸員

●常陸国風土記1番地、

新治郡から常陸国府への直線道

講師／小栗道あべりみち

講師／宇留野主税さん

(桜川市教育委員会文

◎共通

化財課)

ところ／考古資料館2階

体験学習室

定員／60人(先着順)

体験学習室

定員／60人(先着順)



土浦市うぐいす平遺跡、寄居遺跡から出土した灰釉陶器(当館蔵)

◆展示案内会

とき／3月23日(土)、4月29日(日) 午後2時～2時30分

ところ／考古資料館1階 特別展示室

※記念講演会、特別展講座、展示案内会は、入館料が必要です。



阿見町根方遺跡から出土した軒丸瓦(阿見町教育委員会蔵)

◆古代東海道ウォーク

市内に残る古代東海道の想定路をたずねます。

とき／4月7日(日) 午後1時～4時30分(午後0時50分考古資料館集合。小雨決行)

ところ／下高津、板谷・中貴周辺など

対象／小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員／40人(先着順)

参加費／50円(資料代、保険料)

申込方法／電話で

申込期間／3月8日(金)から

※市街地を約5キロメートル歩きます。体力に不安のある方はご遠慮ください。

上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館)

【上高津1843 ☎826・7111】

休館日／毎週月曜日(4月29日・5月6日を除く)、4月30日(祝)

開館時間／午前9時～午後4時30分

入館料／一般…105円、小・中学生、高校生…50円(20人以上の団体は一般…75円、小・中学生、高校生…30円)

◎毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料